

2020年（令和2年）3月31日

発行者：段上西地区社会福祉協議会
委員長 南里吉子
事務局：西宮市社協地域福祉課
辻野朋子

令和元年度 段上西地区福祉委員会活動報告

- 福祉講座「やってみよう！車いすバスケット」
- ふれあい交流会 {子供たちとのカレー作り}
- 福祉研修「芦屋特別支援学校・施設見学」

令和元年 7月15日（月）10:00～
令和元年11月30日（土）10:00～
令和2年 1月30日（木）9:30～

福祉委員会定例会

- 5月22日（水）<総会>10:00～
- 7月30日（火）10:00～
- 10月15日（火）10:00～
- 12月17日（火）13:30～
-

福祉委員会役員会

- 5月21日（火）10:00～
- 5月22日（水）9:30～
- 7月30日（火）9:30～
- 10月15日（火）9:30～
- 12月17日（火）13:00～

福祉講座 ～ やってみよう！ 車いすバスケット！ ～

7月15日（月・祝）スポーツクラブ21と共催で、段上西小学校体育館にて、車いすバスケットボールの体験をしました。車いすバスケットボールは下肢などに障がいのある選手が、競技用車いすを巧みに操作しながらプレーするバスケットボールで、パラリンピックでは、花形スポーツといわれています。



当日は、梅雨の中休み、また、三連休の最終日でもあり、小学生から後期高齢者の方々まで、幅広い年齢層の方が参加して下さいました。（参加者28名、内こども4名）

SC21会長挨拶のあと、総合福祉センターの中西さんより、車いすスポーツ全般について、写真を見ながら、説明を聞きました。車いすを使ったテニス、マラソン、車いすラグビー、サッカーetc.....。一言で車いすと言っても、障がいの種類によって、又、用いる目的によって、様々な車いすが有ることを教えて頂きました。

いよいよ、体験です！実際に、バスケットボール用車いすを操作して、ダッシュ、ストップ、ターンを経験しました。そこまでは、私も、何とかついていけましたが、問題はシュートです。座った姿勢で、腕の力だけでシュートするのは、なかなか難しいと感じました。



次は、4つのチームに分かれて、6人制でミニゲームです。（男女、こども混合）1投1投に歓声が上がリ、2回戦になると、ブロック専門の人が現れたり、思わず、車いすから立ち上がりそうになる人も.....

車いすバスケットボールの面白さを、実際に体験することで、2020年、我が国で開催されるオリンピック・パラリンピックにむけての期待が大きくなることができました。



福祉委員 藤永元子

ふれあい交流会「子供たちとのカレー作り」

2019年11月30日(土)段上公民館にて特別支援学級の生徒・OBとふれあい交流会を開催しました。甲陵中・甲武中・段上西小・OBの14名とその保護者・市社協・福祉委員合わせて39名でカレーライスをつくりました。とても美味しく出来て、おかわりする人が続出でした。



イタダッキマース



共同作業

昼食後は段上マジック倶楽部のマジックショーに興味しんしん、拍手や歓声でとても盛り上がりました。最後に子どもたち一人ひとりにマイクがわたり「おいしかった」「たのしかった」等それぞれ頑張って感想を言ってくれました。

ご参加いただきました皆さんには、和やか雰囲気、楽しく交流出来たのではないのでしょうか。

福祉委員 日比紘子

福祉研修 「兵庫県立芦屋特別支援学校・施設見学」2020.1.30 実施

特別支援学校には「視覚障害」「聴覚障害」「身体障害」と今回訪問した「知的障害」の四種の学校があることを知りました。訪問した学校は、六甲山系の山並みを遙かにのぞみ、青い海ときらめく光に恵まれた芦屋南部の人工島「潮芦屋」にあって生徒たちに有効な学習環境が大変すばらしい立地条件の場にあります。

生徒数三百六十六名、教師百八十名の「あかしく、やさしく、たくましく」を校訓として、自立行動の出来る生徒の育成、生徒一人一人の誇りを大切にする教育がなされています。

登下校はほとんどの生徒がスクールバスを利用しています。放課後のスポーツクラブ、文化クラブに励んでいる生徒は一人で下校します。

サッカー部は県大会で優勝したことがありますが、大半の生徒は私設の放課後等デイサービスの送迎バスを利用

して、各々生徒の希望するスクールに通っています。

普段の授業はキメ細やかなカリキュラムをもとに進められています。教師も生徒も互いに学習し合っているように思いました。

今回の見学において地域支援センターがあることを知りました。センターでは特別支援を必要とする全ての子ども達の保護者・教職員の方々からの保育や教育に関しての様々な相談を受けられています。

このセンターでは相互の困ったこと、わからないこと、教えてほしいこと等々を受けて解決出来る方法など熱意をもって教育相談を行っており、大変心強い思いをいたしました。

今回の見学で知らないことが多く、意欲をもって学習することの大切さを知りました。

福祉委員

坪井一美